



東シナ海が育んだ新鮮な海の幸をふんだんに使った郷土料理。季節ごとの旬の魚が味わえる。



「美人の湯」として名高い市比野(いちひの)温泉。他に川内高城(せんだいたき)温泉など多くの温泉がある。



薩摩川内に初秋を告げる伝統行事「川内大綱引」。上半身裸の若者たちが大綱をめぐり、激しくぶつかり合う。

### 豊かな自然、地域と産業が共存する薩摩川内

**新・薩摩川内市**は、東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線や市街部を悠々と流れる川内川、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、変化に富んだ地形が美しい甌島、温泉など多種多様な自然環境が溢れ、そこで育まれた美味しい食べ物も多いまちですね。

**岩切市長**…そのとおりです。薩摩川内市は、川内川流域県立自然公園や蘭牟田池県立自然公園、甌島県立自然公園など美しい自然に囲まれています。

また、かつては国府がおかれ、古くから南九州における政治、経済、文化の中心地として栄えてきました。このような歴史を背景に、有島三兄弟や山本実彦など、多くの文化人を輩出してきました。

食文化に目を向けますと、県内一の出荷量を誇るキビナゴをはじめ、伊勢エビ、アジ、メジナなどの海産物、そして薩摩地鶏、さらには、キンカンやブドウなどの果物など、大変充実しています。もちろん焼酎も多くの蔵元が名を連ね、味わい深い銘柄がそろっていますよ。

**新・産業や伝統行事の面では**、甲冑の製造や少し変わったルールの大綱引があるとか。

トップに  
きく

## 鹿児島県薩摩川内市

### 岩切秀雄さん × 新欣樹

(薩摩川内市長)

(電源地域振興センター理事長)

原子力をはじめとする様々な産業と豊かな自然が共存する薩摩川内市。大合併から五年を経て、市民が創り市民が育む交流躍動都市の実現に向け、「薩摩川内スピリッツ」の精神を旨に邁進する岩切市長にお話を伺う。



薩摩川内市長  
岩切 秀雄 さん

昭和17年生まれ。昭和38年川内市役所に就職後、昭和45年に鹿児島県地方課へ派遣。その後、川内市役所で、県内でいち早く、庁舎内の電算システム構築に尽力。昭和60年からは企画調整課長、企画財政部長、総務部長を歴任。平成9年から川内地区消防組合消防長、助役を歴任。平成16年、市町村合併後、薩摩川内市助役、副市長を経て、平成20年11月より薩摩川内市長に就任。

#### ■鹿児島県薩摩川内市 (人口: 約102,000人 面積: 683.50km<sup>2</sup>)

平成16年10月12日、川内(せんだい)市、樋脇(ひわき)町、入来(いりき)町、東郷(とうごう)町、祁答院(けどういん)町、里(さと)村、上甌(かみこしき)村、下甌(しもこしき)村、鹿島(かしま)村の1市4町4村が合併し、鹿児島県における平成の大合併の第1号として誕生。薩摩半島の北西部に位置し、東シナ海に面した白砂青松の海岸線、市街部を流れる一級河川「川内川(せんだいがわ)」、ラムサール条約に登録されている「蘭牟田池(いむたいけ)」、地形の変化の美しい「甌島(こしきしま)」など、多種多様な自然環境を有し、国内でも稀なカラフトワシの越冬地でもある。

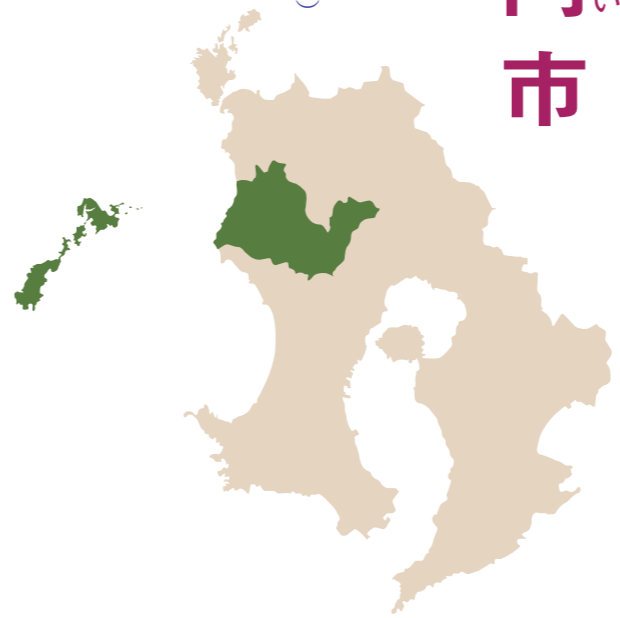
#### ■発電所データ

川内原子力発電所  
出力: 178万kW(1~2号機計) 運転開始: 昭和59年7月(1号機)  
事業者名: 九州電力株式会社

川内火力発電所  
出力: 100万kW(1~2号機計) 運転開始: 昭和49年7月(1号機)  
事業者名: 九州電力株式会社

#### ■今号の表紙

下甌島のナポレオン岩(鹿児島県薩摩川内市)



**岩切市長**…そうですね。本市には甲冑の生産量が全国一の企業があり、NHK大河ドラマなどで使用される甲冑のほとんどがこのまちで生まれています。最近では、結婚披露宴で新郎がこの甲冑を身にまとい登場するといった面白い演出にも使われていると聞いています。

「川内大綱引」は、長さ三百六十五メートル、重さ五トンの大綱をめぐって三千人を超える若者が引き合うのですが、押し隊という攻め手が相手の引き手を妨害する「押し合戦」は迫力満点で「ケンカ綱」と言われる由縁ともなっています。薩摩の名将島津義弘が兵士の士気を鼓舞するために始めたともされる四百十年の歴史をもつ伝統行事で、毎年九月に開催され、この時期になるとまちに活気が溢れます。

**新・それは、勇壮な綱引きですね。**市外からも多くのお客さまが見物に来られると聞いていますが、交通のアクセス面はいかがでしょうか。

**岩切市長**…交通面では、一部開業した九州新幹線や南九州西回り自動車道など高速交通網の整備が進められるとともに、貿易・流通の拠点として将来性のある川内港を有しています。

#### 宝の島、甌島

また、薩摩川内市は、原子力発電所と火力発電所を有するエネルギー供給基地として国の経済活動を支える大切な役割を果たしているとともに、市内の様々なところで産業が発展し、地域と共存しています。

**新・風光明媚な甌島には、「トシドン」という伝統行事があると聞いておりですが、「トシドン」とは一体どのようなものでしょうか。**

**岩切市長**…「トシドン」は、シユロの皮やソテツの葉などを使い、鼻の



長い恐ろしい顔をしています。どこか南国的でユニークな甑島の歳神様です。毎年大晦日の夜に、子供のいる家々を訪れ、子供をしかつたり論じたりしながら、最後には良い子になる約束を取り付け、子供の幸福を願い帰っていきます。国の無形民俗文化財の「トシドン」は、子供の情操教育・躰に役立つとともに、子供の幸福を願う貴重な伝統行事であり、昨年九月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

**新**それは非常に貴重な伝統行事ですね。甑島にはほかにも多くの話題があるようです。

**岩切市長**…そうなんです。昨年二月、下甑島で発見された肉食恐竜の

化石は、国内で最も時代が新しい発見例の一つとして、日本古生物学会で発表されるほどの貴重なものでした。豊かな自然に目を向けますと、国土交通省の「島の宝百景」に選定された「里町の玉石垣」、「日本の地質百選」に選定された「甑島の白亜紀―古第三紀層」などもあります。また、「こしきアートプロジェクト」と「里地区コミュニティ協議会」による「甑島で、つくる。」は、活力協働まちづくり推進団体の全国グランプリを受賞しました。このように甑島では、九州全域を見渡しても類を見ないほどの地域資源の掘り起こしが進んでおり、まさに宝の島と言えます。



電源地域振興センター理事長

あたらしく **新 欣樹**

昭和18年生まれ。昭和40年、通商産業省入省。科学技術庁長官官房長を経て、中小企業庁長官などを歴任。石油公団理事などを経て日本原子力発電株式会社副社長、平成21年7月より財団法人電源地域振興センター理事長。

## 今後の課題と展望

**新**九州新幹線「つばめ」の全線開業は、薩摩川内市にとって非常に重要なポイントになります。

**岩切市長**…九州新幹線の全線開業までいよいよ一年余りとなりました。甑島をはじめ、ラムサール条約に登録されている蘭牟田池、中世の武家集落の名残をとどめる入来麓武家屋敷群、西郷隆盛も利用したと伝えられている川内高城温泉など、本市の豊富な観光資源と九州新幹線全線開業を、観光客の誘致にうまく結びつけていきたいと考えています。

そのほかにも薩摩川内市においては大きな事業が目白押しで、この重要な時期に市政を担う身として、私も身が引き締まる思いです。

**新**川内原子力発電所三号機増設、県の産業廃棄物処分場の建設など、市にとって今後非常に大きな影響を与える案件が控えていますね。



九州新幹線「つばめ」。平成16年3月、鹿児島中央～新八代間で先行開業（新八代～博多間は「リレーつばめ」に乗り換え）。来年3月の全線開業に向け準備が進んでいる。

**岩切市長**…ええ。川内原子力発電所三号機に関しては、昨年一月八日、九州電力(株)から環境影響評価準備書の報告とあわせて、増設の申し入れがありました。十月には、県知事意見、環境大臣意見を受けた経済産業大臣から九州電力(株)に対し、同準備書に対する勧告がなされ、九州電力(株)は今年一月に、経済産業大臣に評価書を届け出ました。そして二月、経済産業大臣から、評価書の変更を必要としないとする確定通知が九州電力(株)になされました。

県産業廃棄物管理型最終処分場については、県から基本計画が公表され、平成二十三年度着工、平成二十五年度の供用開始の方針が示されましたが、県に対して引き続き、地元住民の理解に向けた取り組みや丁寧な説明を行うよう求めているところです。

いずれも、市民を二分するような出来事ではありませんが、私はこれを市民が一つになって市政に参画するまたとないチャンスであると考えています。行政の主役は市民であり、市民の声を聴く行政でなければなりません。議会で十分に論議し、最終的には市民の声を聴き、判断していきたいと思えます。

**新**そのほか、現在取り組んでおられること、今後の課題や展望について教えてください。

## 市民が主役のまちづくり

**新**薩摩川内市は、平成十六年に一市四町四村の合併により誕生しましたが、市長のまちづくりに対するお考えをお聞かせください。

**岩切市長**…薩摩川内市では、第一次薩摩川内市総合計画において、「地域力」が奏でる「都市力の創出」という基本理念を掲げるとともに、市民の一体感の醸成という観点から「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」を将来都市像とし、その実現に向けて政策を展開しています。現在、当総合計画の折り返し地点にあたることから、これまでの中間的総括を行うとともに、社会経済情勢の急激な変化に弾力的に対応するため、基本構想の一部変更と下期基本計画の策定を行っているところです。

**新**…下期基本計画については、昨年度、私どもで計画策定の基となる基本調査のお手伝いをさせていただいたところですが、本場に、薩摩川内市では市民が主役のまちづくりに非常に力を注いでおられますね。

**岩切市長**…ええ。「市民まちづくり研究会」の設置や「まちづくり意見交換会」の開催、パブリックコメントを実施し、広く市民の声を聴いています。研究会からは、まちづくり



入来麓武家屋敷群。薩摩藩随一の堅城であった清色(きよしき)城跡を中心に、玉石垣による整然とした区画割や武家屋敷門(茅葺門)など、中世の史跡・文化財が残る。

**岩切市長**…薩摩川内市の特色や魅力を市内外に売り込むためには、シティーセールスが重要な政策であると考え、現在新たに取り組んでいます。薩摩川内市の知名度や好感度を上げるために、「イメージアップ」、「観光・プロスポーツ等集客」、「商品発見・開発」などの五つの視点から、元気の薩摩川内市をどんどんPRしていきたいと考えています。

スポーツ交流では、昨年の秋、世界大会を控えた全日本男子・女子バレーボールチームが合宿を行いました。また、「サンアリーナせんだい」では、プロ野球選手によるキャンプや自主トレが行われ、期間中、市内はもとより県内各地からの見物客でたいへん賑わいました。特に子供たちは、一流選手のプレーを間近に見



甑島列島。川内川河口の西方、東シナ海上約26kmのところに、上甑島・中甑島・下甑島の3島が連なる。ウミネコ繁殖の南限としても知られる。

について合併後五年間の振り返りや今後の方向などの提言書が出され、意見交換会では、五百十五件もの意見・要望等が出されました。また、自治総合審議会による答申も受けたところであり、これらは、主に基本構想における重点的取り組みや下期基本計画へ反映させて参ります。

また、目指すべき将来都市像の実現に向けて、

- ・九州新幹線全線開業の効果を最大限に活かした「戦略的なシティセールスの推進」
- ・高齢者の豊富な経験や知識、技能と各地域の個性や資源を生かした「集落の活性化」(ゴールド集落支援の推進)
- ・宝の島、甑島を中心とした「観光関連産業の振興」
- ・中心地域と周辺地域が有する機能の相互連携・協力による「定住自立圏構想の推進」

などを主な取り組みとして、政策を展開していくこととしています。

て大いに刺激を受けたようです。

また、市内の農家に関東・関西地区の中・高校生を修学旅行体験学習として受け入れるグリーンツーリズムも進めています。参加した子供たちは、初めての農業体験の中で人情味溢れる農家の方と交流し、豊かな自然に触れ、喜んで帰っていきます。これらを通じて、交流の輪と薩摩川内市の魅力が全国に広がることを期待しています。

これからも次代を担う子供たちに夢を与えるような素晴らしい取り組みを続けるとともに、地域おこしや情報発信にも力を注ぎ、元気なまちづくりを進めていきたいと思えます。

**新**市と市民の皆さまが一丸となつて取り組み、薩摩川内市が一層発展していくことを楽しみにしています。本日はありがとうございました。



蘭牟田池。希少野生生物であるベッコウトンボが生息する。平成17年11月にラムサール条約の登録湿地となった。釣りやボート遊び、散策、サイクリングなど、四季を通じてレジャーが楽しめる。